



平成 31 年 3 月 19 日

## 被爆建物の破片などをケンブリッジ大学へ発送します

日時：3月26日（火）11：00～12：00 説明会

13：00～ 発送作業（運送業者へ受渡し）

場所：広島大学医学部医学資料館 2 階会議室（広島市南区霞 1-2-3）

本学の平和企画のひとつとして、被爆した建物の破片ならびに被爆者と共に制作した作品をイギリスのケンブリッジ大学へ発送します。当日は発送する物を提示しながら説明会を実施しますので、ご案内します。説明会の後には梱包作業を行い、運送業者へ受け渡します。

ケンブリッジ大学では、すでに展示されている本学からの寄贈物に加えて新着資料として展示を予定しております。ケンブリッジ大学への被爆建物破片の寄贈は平成 22 年に実施した原爆瓦等寄贈、平成 30 年に実施した産業奨励館破片等寄贈に続いて三回目となります。

〔今回に発送する内容物、三種類の内訳〕

(1) E・R・E 宇品御幸ビル（爆心地から約 3, 800m 地点で被爆し平成 30 年 2 月に解体した被爆建物）の破片（建物西側（原爆の熱線を浴びた壁面）から採取した鉄骨の一部）

【鉄骨（丸鋼）】太（直径 22 mm×50 cm） 1 本  
 細（直径 8 mm×50 cm） 2 本



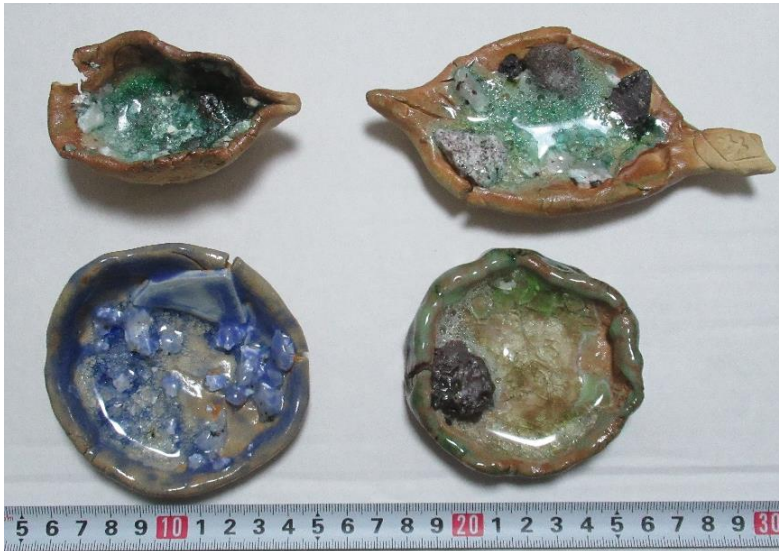
丸鋼（太）、（細）



E・R・E 宇品御幸ビル解体現場における採取の様子（平成 30 年 2 月）

平成 31 年 2 月の解体工事に際し、本学広島大学原爆瓦発送之会の嘉陽礼文が E・R・E 宇品御幸ビルの所有会社と協議の上、平和教育、原爆犠牲者への慰霊、原爆の記憶の継承（海外発送企画を含む）を目的として被爆建物の解体後中の破片を採取しました。今回の被爆建物破片の発送資料はその破片の中から選んだものです。

(2) 平成 30 年 6 月に舟入むつみ園にて被爆者と本学学生が共同で制作した平成原爆焼 20 個



平成原爆焼の、器の底の部分には、元安川の砂利と似島の砂が埋め込まれています。

(3) 平成 31 年 2 月に舟入むつみ園にて被爆者と本学学生が共同で制作した色紙 10 枚



発送作品には制作者（被爆者）の氏名と制作日が記入されています

#### <本学とケンブリッジ大学との平和交流の歴史>

本学とケンブリッジ大学の平和交流は、本学初代学長の森戸辰男が、昭和 20 年の原爆投下によって灰燼となった本学の復興・緑化運動のため、昭和 27 年に樹木種子ならびに平和図書の寄贈を打診する書簡を発送したことから始まり、当時のケンブリッジ大学からは 7 冊の書籍を寄贈していただきました。その後、平和関連の交流として平成 22 年に本学原爆瓦発送之会の嘉陽礼文が原爆瓦と本学の構成員著の図書を発送し交流が再開し、平成 30 年には訪問ならびに産業奨励館の破片と平成原爆焼を寄贈しました。ケンブリッジ大学ではアジア中東研究科とケンブリッジ大学プレスミュージアムにおいて本学からの寄贈物を常設展示しています。今後も本学は平和教育、原爆犠牲者への慰霊、原爆の記憶の継承についてケンブリッジ大学と協働して平和活動を継続していきます。



ケンブリッジ大学プレスミュージアム内に常設展示中の本学寄贈物のコーナー

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 国際交流グループ 嘉陽礼文

TEL : 090-1185-1620 FAX : 082-424-4545

発信枚数 : A4版 4枚 (本票含む)

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

被爆建物の破片などをケンブリッジ大学へ発送します

説明会日時：3月26日(火) 11:00~12:00

集合場所：広島大学医学部医学資料館2階会議室  
(広島市南区1-2-3)

ご出席

ご欠席

貴社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

ご芳名 \_\_\_\_\_ (計名)

電話番号 \_\_\_\_\_

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、3月25日(月)12:00まで  
にご連絡願います。